

グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス（GRENE）事業北極気候変動分野
「急変する北極気候システム及びその全球的な影響の総合的説明」
研究課題申請書（記載例）

1. 研究課題・研究代表者

研究課題名	北極海氷急減と強温暖化メカニズムの解明			
研究代表者	ふりがな	ほっきょく たろう	生年月日	昭和40年5月4日
	氏名	北極 太郎	年齢（申請時）	46歳
所属機関名・部署名	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所			
所属先住所等	住所：〒190-8518 東京都立川市緑町10-3 TEL：042-512-0917 FAX：042-518-3195 E-mail：grene@nipr.ac.jp			
連絡担当者・連絡先	(研究代表者と同じ場合は不要)			
4つの戦略目標のうちどの目標を達成する課題か（番号に○をつける。複数可）	<input checked="" type="radio"/> 1. 北極域における温暖化増幅メカニズムの解明 <input type="radio"/> 2. 全球の気候変動及び将来予測における北極域の役割の解明 <input type="radio"/> 3. 北極域における環境変動が日本周辺の気象や水産資源等に及ぼす影響の評価 <input checked="" type="radio"/> 4. 北極海航路の利用可能性評価につながる海氷分布の将来予測			

2. 研究課題概要（研究課題概要を簡潔に記載して下さい）

研究課題概要を簡潔に記載して下さい。採択された課題については、この概要をHPに掲載する予定です。

1ページ目は、欄を拡張したりせずにそのままご利用下さい。また、文字のポイント数は10.5ポイントとして下さい。

2. 研究組織

(研究代表者氏名・所属・職)

北極太郎・国立極地研究所北極観測センター・教授

(研究分担者氏名・所属・職・役割)

北極次郎・国立極地研究所北極観測センター・准教授・●●観測担当

- ・
- ・
- ・
- ・

研究代表者及び研究分担者全員の氏名・所属・職・役割を記載して下さい。枠は拡張して差し支えありません。文字のポイント数は10.5ポイントとして下さい。

3. 研究目的・内容（4つの戦略目標と関係づけて記載すること）

研究目的・内容を4つの戦略目標と関連づけて（当該研究の実施により、4つの戦略目標がどのように達成されるのか）記載して下さい。必要に応じて、図・表を用いて記載して下さい。文字数やページ数に制限はありません。文字のポイント数は10.5ポイントとして下さい。

4. 研究計画（上記研究目的を達成するための研究計画を記載すること。その際、年度毎の研究計画がわかるように記載すること。また、利用を希望する研究基盤についても明確に記載すること。）

研究計画を年度毎に記載して下さい。また、利用を希望する研究基盤（公募要項8）についても、記載して下さい。必要に応じて、図・表を用いて記載して下さい。文字数やページ数に制限はありません。文字のポイント数は10.5ポイントとして下さい。

5. 研究経費 (単位 千円)

千円単位として、桁区切りを利用して下さい。「(1) 全体」は枠の拡張等
 改変はしないでください。

(1) 全体

	設備備品費	物品費	人件費	事業実施費	計
平成 23 年度	50,000	10,000	10,008	20,000	90,008
平成 24 年度	30,000	10,000	20,016	20,000	80,016
平成 25 年度	30,000	10,000	20,016	20,000	80,016
平成 26 年度	0	5,000	20,016	20,000	45,016
平成 27 年度	0	5,000	20,016	20,000	45,016
計	110,000	40,000	90,072	100,000	340,072

(2) 設備備品費

	品名・仕様 (参考業者名)	数量	単価	金額	主として使用する研究者 及び設置場所
平成 23 年 度	●●観測機・SHX-1 型 (北極商会)	2	20,000	40,000	北極太郎・極地研
	■■分析機・SSS-2 型 (白熊商会)	1	10,000	10,000	北極太郎・極地研
	計			50,000	
平成 24 年 度	▲▲測定器・SSS-3 型 (オーロラ商会)	2	15,000	30,000	北極太郎・極地研
	計			30,000	
平成 25 年 度	▲▲測定器・SSS-3 型 (オーロラ商会)	2	15,000	30,000	北極太郎・極地研
	計			30,000	
平成 26 年 度	設備備品費: 単価が 50 万円以上の物品は原則として設備備品として取り扱 われますので、設備備品費に計上して下さい。 (参考業者名) は、当該設備備品を購入することができる業者名を記載し して下さい。 千円単位として、桁区切りを利用して下さい。適宜枠の大きさを調整して いただいて構いません。				
平成 27 年 度					
	計				
合計					

(3) 物品費・人件費

	物品費		人件費	
	品名	金額	事項	金額
平成 23年 度	パソコン (@300×5 台)	1,500	ポスドク研究員 (@420×6 月×4 人)	10,080
	外付 HD (@100×10 台)	1,000		
	衛星観測データ (@300×5 種類)	1,500		
	解析用試薬 (@100×30)	3,000		
	顕微鏡 (@300×10)	3,000		
	計	10,000	計	10,080
平成 24年 度	パソコン (@300×5 台)	1,500	ポスドク研究員 (@420×12 月×4 人)	20,160
	外付 HD (@100×10 台)	1,000		
	衛星観測データ (@300×5 種類)	1,500		
	解析用試薬 (@100×30)	3,000		
	顕微鏡 (@300×10)	3,000		
	計	10,000	計	20,160
平成 25年 度	パソコン (@300×5 台)	1,500	ポスドク研究員 (@420×12 月×4 人)	20,160
	外付 HD (@100×10 台)	1,000		
	衛星観測データ (@300×5 種類)	1,500		
	解析用試薬 (@100×30)	3,000		
	顕微鏡 (@300×10)	3,000		
	計	10,000	計	20,160
平成 26年 度	外付 HD (@100×5 台)	500	ポスドク研究員 (@420×12 月×4 人)	20,160
	衛星観測データ (@300×5 種類)	1,500		
	解析用試薬 (@100×30)	3,000		
	計	5,000		
平成 27年 度	外付 HD (@100×5 台)	500	ポスドク研究員 (@420×12 月×4 人)	20,160
	衛星観測データ (@300×5 種類)	1,500		
	解析用試薬 (@100×30)	3,000		
	計	5,000		
合計		40,000		90,072

物品費：単価が 50 万円未満の物品は、物品費に計上して下さい。

人件費：ポスドク研究員の雇用単価は、42 万円/月（法定福利費含む）として計算して下さい。
千円単位として、桁区切りを利用して下さい。適宜枠の大きさを調整していただいて構いません。

(4) 事業実施費

	事業実施費			
	旅費	金額	その他	金額
平成 23年 度	(国内旅費) 研究打ち合わせ (@100×10 人×5 回)	5,000	(会議開催費) 研究集会会場費 (@500×1 回)	500
	研究集会 (@100×20 人×1 回)	2,000	(通信運搬費) 観測機材運搬費 (日～露) (@300×5 台)	1,500
	(外国人等招へい旅費) 研究打ち合わせ (@400×5 人×2 回)	4,000	(雑役務費) データ解析ソフト作成委託費 (@2,000×3 本)	6,000
	(諸謝金) データ整理 (@10×10 日×10 人)	1,000		
	小計	12,000	小計	80,00
	計			20,000
平成 24年 度	(国内旅費) 研究打ち合わせ (@100×10 人×3 回)	3,000	(通信運搬費) 観測機材運搬費 (日～カ) (@300×5 台)	1,500
	(外国旅費) 調査旅費 (ロシア) (@500×5 人×1 回)	2,500	観測機材運搬費 (日～ノ) (@300×5 台)	1,500
	調査旅費 (カナダ) (@500×5 人×1 回)	2,500	観測データ転送費 (@1,000)	1,000
	調査旅費 (ノルウェー) (@500×5 人×1 回)	2,500	(借損料) スパコン賃借料 (@2,500)	2,500
(外国人等招へい旅費) 研究打ち合わせ (@400×5 人×2 回)	2,000			
(諸謝金) データ整理 (@10×10 日×10 人)	1,000			
	小計	13,500	小計	6,500
	計			20,000
平成 25年 度	(国内旅費) 研究打ち合わせ (@100×10 人×3 回)	3,000	(通信運搬費) 観測機材運搬費 (日～カ) (@300×5 台)	1,500
	<p style="border: 1px solid red; padding: 5px;">千円単位として、桁区切りを利用して下さい。不要な項目は適宜削除していただいて結構です。 適宜枠の大きさを調整していただいて構いません。 なお、旅費及び謝金については、実施段階では情報・システム研究機構の旅費規程や謝金規程 が適用されて金額が決まります。</p>			500
				500
	(諸謝金) データ整理 (@10×10 日×10 人)	1,000		
	小計	13,500	小計	6,500
	計			20,000
平成 26年 度	(国内旅費) 研究打ち合わせ (@100×10 人×3 回)	3,000	(通信運搬費) 観測機材運搬費 (日～カ) (@300×5 台)	1,500
	(外国旅費) 調査旅費 (ロシア) (@500×5 人×1 回)	2,500	観測機材運搬費 (日～ノ) (@300×5 台)	1,500
	調査旅費 (カナダ) (@500×5 人×1 回)	2,500	観測データ転送費 (@1,000)	1,000
	調査旅費 (ノルウェー) (@500×5 人×1 回)	2,500	(借損料) スパコン賃借料 (@2,500)	2,500
(外国人等招へい旅費) 研究打ち合わせ (@400×5 人×2 回)	2,000			
(諸謝金) データ整理 (@10×10 日×10 人)	1,000			
	小計	13,500	小計	6,500
	計			20,000
平成 27年 度	(国内旅費) 研究打ち合わせ (@100×10 人×3 回)	3,000	(会議開催費) 研究集会会場費 (@500×2 日×1 回)	1,000
	研究集会 (@100×50 人×1 回)	5,000	(通信運搬費) 観測データ転送費 (@1,000)	1,000
	(外国旅費) 調査旅費 (ロシア) (@500×5 人×1 回)	2,500	(製本印刷費) 報告書作成費 (@2,000)	2,000
	(外国人等招へい旅費) 研究打ち合わせ (@400×5 人×2 回)	2,000	(借損料) スパコン賃借料 (@2,500)	2,500
(諸謝金) データ整理 (@10×10 日×10 人)	1,000			
	小計	13,500	小計	8,500
	計			20,000
合計				100,000

7. 研究代表者略歴

研究代表者氏名	北極 太郎
研究代表者所属・職	情報・システム研究機構 国立極地研究所北極観測センター・教授
生年月日	昭和40年5月4日
最終学歴	北極大学大学院北極気候変動研究科修了（平成10年9月）
学 位	博士（理学） 平成10年9月取得 北極大学大学院北極気候変動研究科
職 歴	<p>H10.10～H13.9 北極大学大学院北極気候変動研究科ポスドク研究員 H13.10～H18.3 北極大学大学院北極気候変動研究科助手 H19.4～H22.3 北極大学大学院北極気候変動研究科・准教授 H22.4～現在 北極大学大学院北極気候変動研究科・教授</p>
	<p>文字のポイント数は10.5として下さい。職歴欄及び研究実績欄が足りない場合は、適宜枠線を動かして調整あるいは、枠を拡大していただいて構いません。 研究実績の主な論文は、新しい順に遡って5編以内を記載して下さい。研究実績覧の著者名については、本人の名前に下線を付して下さい。</p>
研究実績 (主な論文5編以内)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 著者名、論文タイトル、掲載誌名、刊号、ページ、発行年 2. 著者名、論文タイトル、掲載誌名、刊号、ページ、発行年 3. 著者名、論文タイトル、掲載誌名、刊号、ページ、発行年 4. 著者名、論文タイトル、掲載誌名、刊号、ページ、発行年 5. 著者名、論文タイトル、掲載誌名、刊号、ページ、発行年

8. 研究実績 (研究組織全体として、本件研究課題に関する論文、獲得した競争的資金等を過去5年分の範囲内で記載して下さい。)

○論文

1. 著者名、論文タイトル、掲載誌名、刊号、ページ、発行年
- 2.
- 3.
-
-
-
-

論文、競争的資金ともに新しいものから遡って記載して下さい。また、論文の著者名については、本申請の研究代表者及び研究分担者の氏名の下線に付して下さい。

文字のポイントは10.5として下さい。

○競争的資金

1. 科学研究費補助金 (基盤研究 S) 「北極温暖化の解明」 平成20年～25年
研究代表者：北極太郎 研究分担者：北極次郎
(研究分担者については、本申請の研究代表者及び研究分担者の方だけを記載して下さい)
- 2.
- 3.
-
-
-